

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取東高等学校

| | | | |
|------|------|-----|-------------|
| 重点項目 | 大学進学 | 提出日 | 平成31年 2月15日 |
|------|------|-----|-------------|

| |
|---|
| 1 学校目標 |
| さまざまな教育活動を通して、21世紀の鳥取そして日本を支える人材の育成に努める。 1 自分の将来をはっきりと思い描き、その目標に向かって努力する主体性を育成する。 2 社会のどこかを支える人間、一隅を照らす人に育てる。 3 他者を思いやる優しさ（親和）、困難に立ち向かう逞しさ（克己）、探究しようとする積極性（進取）を育成する。 |
| 2 重点項目に係る目標 |
| ・将来の夢が語れ、高い志を持って自己の将来像を設計し、実現に向けて主体的に努力する力を育成する。 ・大学入試センター試験や二次試験の研究と対策を進め、生徒の実態や教育課程に対応した学習指導の充実を図る。 <数値目標> ・国公立大学の現役合格者140人（現状110人前後）、うち難関大学等合格者10人（現状5人前後）を目指す。 |
| 3 事業計画（事業名、事業概要） |
| 【高等学校課事業】 ○鳥取県版キャリア教育推進事業 「ようこそ高校へ」版キャリア塾 各学年の生徒に対して、進路意識やキャリア意識を高めるため大学などの外部講師を招いて講演会を行う。 ○21世紀型能力を育むための講師派遣事業 ・テーマ「ICTを活用した協調学習の推進」 アクティブ・ラーニングを促進する方法として、ICTを活用した協調学習を研究し、授業実践につなげる。 ・テーマ「対話的で深い学び」 大学入試に対応しつつも、対話的で深い学びを創出することをめざした授業の公開と講演会を行う。 【独自事業】 ○教科指導力向上事業 難関大学などへ向かう生徒指導のため、県外予備校への研修や先進校視察などを行う。 ○鳥取学推進事業 進路意識を高め進路目標を明確にするために、1年次では鳥取を題材にして研究・訪問し、2年次では県内の様々な分野で活躍中の方々を講師として招いて、講演会を行う。 ○学部・学科別講演会 2年生を対象に、近隣の大学より学部・学科別に10名程度の講師を招いて、講演会を行う。 ○保護者進路講演会 保護者を対象に、県外大学等教員を講師として招いて、入試動向など最新の情報についての講演会を行う。 |